

新入会員の紹介

エネルギーの未来に向けて国内外の研究機関や企業との協業を深めています

有限会社 シミュレーション・テクノロジー

問い合わせ先 〒236-0004 横浜市金沢区福浦1-1-1
横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア6F
Tel : 045-786-5731 Fax : 045-786-5732
E-Mail : htatsumi@sim-tech.co.jp

弊社は2001年に創立し、プロセスシミュレーションやエネルギーの最適化などの分野における欧米の有力企業の代理店業務と中心として、自らもコンサルタントとしてモデリング、解析、最適化などのプロジェクトを遂行しております。

創業以来、石油業界向けのコンサルティングで世界有数のKBC Process Technology社（英国）のエネルギー部門や、電解質系の腐食シミュレーション分野で著名なOLI Systems社（米国）とは、強固な信頼関係を構築しています。

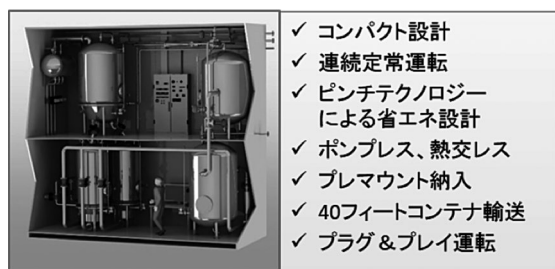
近年では、Enerdata社（フランス）のエネルギー関連各種データベースや、Dynamita社（フランス）の水処理プロセスシミュレータの取り扱いを開始しました。

今回、本会への入会動機となりましたのは、下水汚泥の水熱処理のベンチャーであるTE CONSULTING HOUSE 4 PLUS社（スペイン、略称teCH4+社）のとの代理業務契約でございます。

ご存知のように、下水処理場では汚泥の嫌気

性消化によるメタンガス回収が行われておりますが、特に余剰汚泥の消化は困難です。余剰汚泥を水熱処理することでメタンの回収量を3割ほどアップすることができることは以前より知られておりますが、消化汚泥の脱水ろ液に難生分解性のCOD成分が含まれ、これが返流水として下水処理工程に戻り、最終放流水のCODを若干高めてしまう欠点があることも知られています。このため、我が国では、実証運転目的のプラントを除くと、商用プラントは一つもないという状況が続いています。

その間に、欧米を中心に、世界で70件以上の水熱プラントが設置され、2015年からの3年間だけで26件も新設されています。ヨーロッパが最多ですが、中国5件、韓国3件、シンガポール1件とアジア圏にも増えてきています。teCH4+社の最新の水熱技術（tH4+）は、連続操作を可能とし、コンパクトで省エネ性、メンテナンス性に優れるという特徴があります。本会会員の皆様にご興味を持っていただければ幸いです。



新しい水熱技術 tH4+ の特徴

- ✓ コンパクト設計
- ✓ 連続定常運転
- ✓ ピンチテクノロジーによる省エネ設計
- ✓ ポンプレス、熱交レス
- ✓ プレマウント納入
- ✓ 40フィートコンテナ輸送
- ✓ プラグ&プレイ運転



納入された tH4+ 水熱装置